

1 名古屋市学校教育の努力目標 「なかまと学び 夢を創る」

- すべての子どもに対し、一人一人に応じた個別最適化された学びを提供し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する。
- 子どもがキャリア教育を含む多様な学びを通して自分のよさに気づき、夢を抱き、その実現に向かって自他を大切にしながらたくましく生きることができるようにする。

2 令和2年度 杉村小学校 学校教育努力点研究について

(1) テーマ

「チャレンジ！こんなこと考えたよ！できたよ！」

～プログラミング的思考を取り入れた学習を通して～

(2) 成果と課題

- 課題に対して、子ども一人一人が自分の考えをもつことができた。
- 自分の考えを基に、友達と話し合い、課題を解決するために試行錯誤したり、互いの考えを共有したりすることができた。
- コンピュータリテラシーを高める学習を発達段階に応じて行うことができた。
- プログラミング的思考を取り入れた学習場面について、来年度に向けて実践に取り組める学習場면을洗い出すことができた。
- 高学年でビジュアルプログラミング、ロボットプログラミングに挑戦することができた。
- 学年だよりで努力点の取り組みを保護者に伝えることができた。
- 学習カードやフローチャート等を使うことが、子どもの思考を妨げたり、思考の幅を狭めてしまったり、時間がかかったりする場面があった。
- めあての設定が明確になっておらず、ゴールイメージをもつことが難しい学習場面があった。
- コンピュータリテラシーについては、子ども一人一人のもつスキルが異なっているため、個に応じた取り組みも必要である。

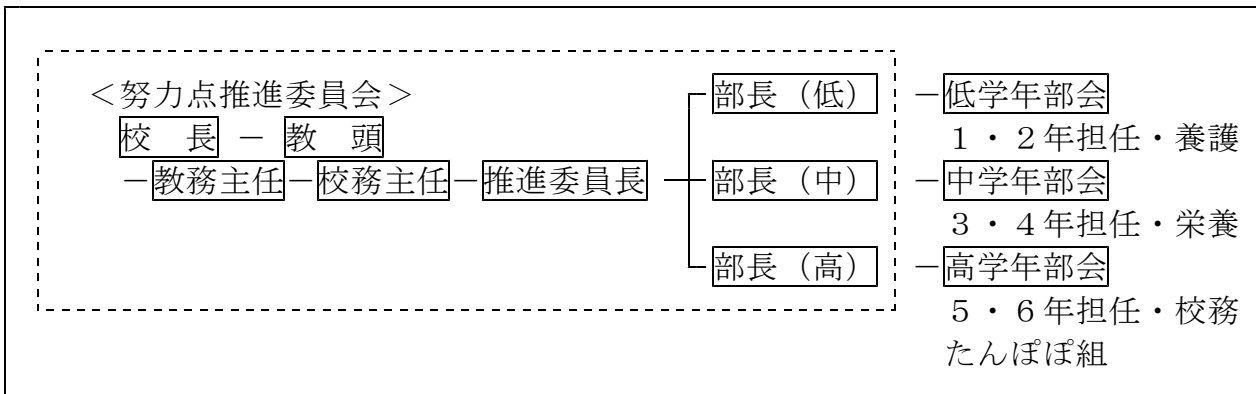
3 令和3年度 杉村小学校 学校教育努力点研究について

テーマ「チャレンジ！こんなこと考えたよ！できたよ！」（2年次）
～プログラミング的思考を取り入れた学習を通して～

(1) 研究の方法

- ① プログラミング的思考を取り入れた教科等学習による授業実践
 - ・ 教科学習による授業実践（小学校教育課程にある事例をもとに）
 - ・ 総合的な学習の時間・学級活動の時間を活用したコンピュータリテラシーを高める学習
 - ・ 文部科学省提供のソフト等の利用
- ② 授業実践の集積によるカリキュラム編成
 - ・ プログラミング的思考を取り入れた教科等学習による授業実践の集積
 - ・ 各学年・各教科で取り組むカリキュラムの編成

(2) 研究組織



(3) 年間計画

3月	努力点推進委員会	努力点研究推進について検討
4月	職員会議	努力点研究・部会運営について提案
4月～5月	学習会	学年研究会を適宜努力点部会とし、指導案を部会で検討の上、回議決裁
5月～12月	授業実践	
12月	報告書について	報告書のまとめについて職員会議で提案
1月	報告会	授業実践・まとめについて報告
2月	努力点推進委員会	次年度の努力点研究推進について検討
3月	職員会議	次年度の努力点研究について提案

(4) 授業実践について

- ・ 各学級、プログラミング的思考を取り入れた教科学習の実践を1回ずつ行う。
- ・ 授業実践の日程は、部会で調整後、推進委員長が日程調整し、全員に周知する。部会の研究授業は部会の全員が参観できるよう、調整する。
- ・ 成績処理の時期や出張・行事等との重なりを極力避ける。
- ・ 指導案は部会で検討の上、1週間前までに回議決裁を受け、前日までに配布する。

(5) コンピュータリテラシーを高める学習について

- ・ 総合的な学習の時間・学級活動の時間を活用して行う。
- ・ 文部科学省提供のソフト等の利用をしてもよい。

(6) 保護者への周知

- ・ 授業実践の取り組みやコンピュータリテラシーを高める学習について、学年だよりに掲載